

第33週の発生動向(2006/8/14~2006/8/20)

- ヘルパンギーナについては、青森(第28週~)、上十三(第30週~)、むつ保健所管内(第28週~)で、**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内(第24週~)で、**警報**が継続しています。
- 水痘については、むつ保健所管内で第29週から**注意報**が継続しています。
- インフルエンザについては、8月に入り沈静化状態となりました。迅速診断キットにより、むつ保健所管内ではB型:1件が報告されています。

第33週五類感染症定点把握

保健所名 疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ									1	0.11	1	0.17	2	0.03	-4
(60) 咽頭結膜熱	5	0.56			2	0.22	3	0.60	3	0.50	4	1.00	17	0.40	-6
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	0.33	2	0.22			2	0.33			7	0.17	-8
(62) 感染性胃腸炎	15	1.67	14	1.56	2	0.22			4	0.67	8	2.00	43	1.02	-15
(63) 水痘	4	0.44	6	0.67	9	1.00	3	0.60	1	0.17	18	4.50	41	0.98	-32
(64) 手足口病	9	1.00	8	0.89					4	0.67			21	0.50	9
(65) 伝染性紅斑	3	0.33	2	0.22	2	0.22			2	0.33	1	0.25	10	0.24	-2
(66) 突発性発しん	4	0.44	11	1.22	5	0.56			3	0.50	4	1.00	27	0.64	3
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															0
(69) ヘルパンギーナ	29	3.22	17	1.89	3	0.33	4	0.80	14	2.33	15	3.75	82	1.95	-77
(70) 麻疹(成人を除く)															0
(71) 流行性耳下腺炎	14	1.56	18	2.00	16	1.78			13	2.17	11	2.75	72	1.71	-8
(73) 急性出血性結膜炎															-1
(74) 流行性角結膜炎			2	0.67	5	2.50	2	2.00	1	0.50			10	0.91	1
(59) RSウイルス感染症							2	0.40					2	0.18	1
(82) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					3	3.00	6	1.00	2

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
青森	14	9	5	2	1
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

(14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) 青森保健所管内:1人, むつ保健所管内:1人 (18年計 29人)

感染症の窓

デング熱

デング熱は、熱帯、亜熱帯地域全体で、年間約1億人の患者が発生しています(右図)。昨年は、これらの広い地域で大流行がありました。

感染経路 ⇨ デングウイルスに感染した蚊(ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ等)に刺されることによって発症します。3~14日の潜伏期間の後、発熱(38~40)頭痛、筋肉痛、関節痛、出血傾向等の症状を呈します。これらの症状の他に、血漿漏出(胸水、腹水)肝臓腫脹、出血傾向、ショック等の症状を呈するものを特に**デング出血熱**と言います。

感染予防 ⇨ 唯一の感染予防は、**蚊に刺されないこと**です。これらの流行地域では、**長袖、長ズボン**を着用し、**防虫剤**や**蚊取り線香**を用意することをお勧めします。

流行地域へ出かける方は十分な注意をしてください。

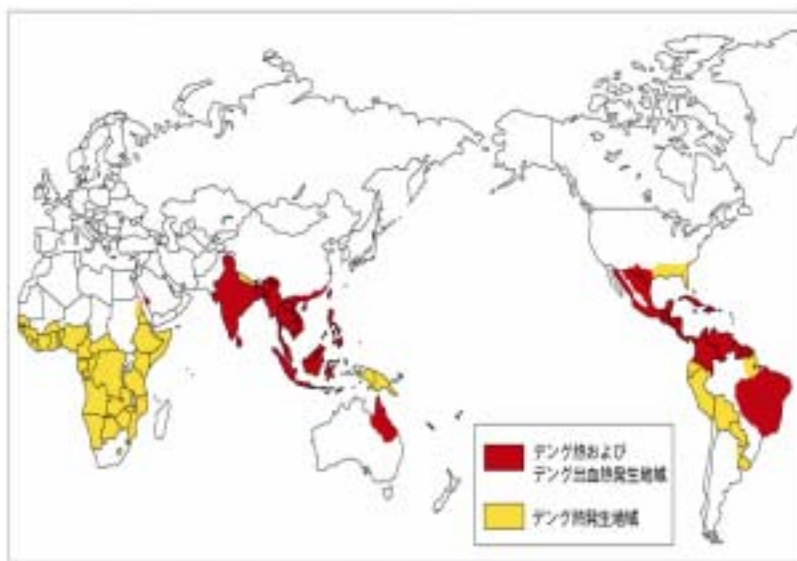


図 デング熱・デング出血熱の発生地域 (IDWRより抜粋)